

恐竜の足を取り付ける

ゆきや

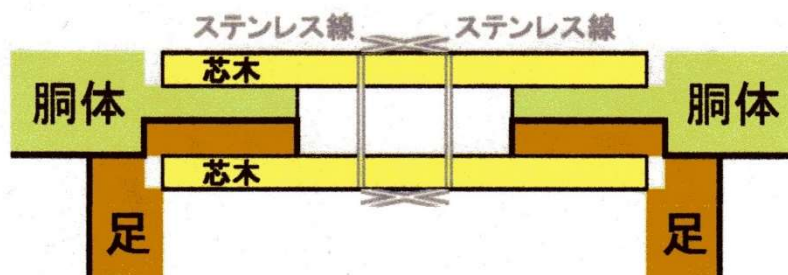
全長50cmほどの大きな恐竜の、左足が外れてしまいました。



外れた部分を観察します。はめ込みなどではなく、単に接着していたようです。素材はシリコンゴムでしょうか。接着剤があまり効かなかったのかも知れません。内部には綿のような物が、ギッシリ詰め込まれていて、外に膨れています。それもあって、単純に接着したのでは、長持ちしそうにありません。

それと、どんな接着剤が効くのか分かりません。接着面に何種類か接着剤を付けて、一晩様子を見ました。結果は、木工ボンドは云うまでもなく×、合成ゴム系もあえなく×、アロンは効くようです。2液混合のMos8も大丈夫そうです。ただいずれも接着だけでは不十分でしょう。

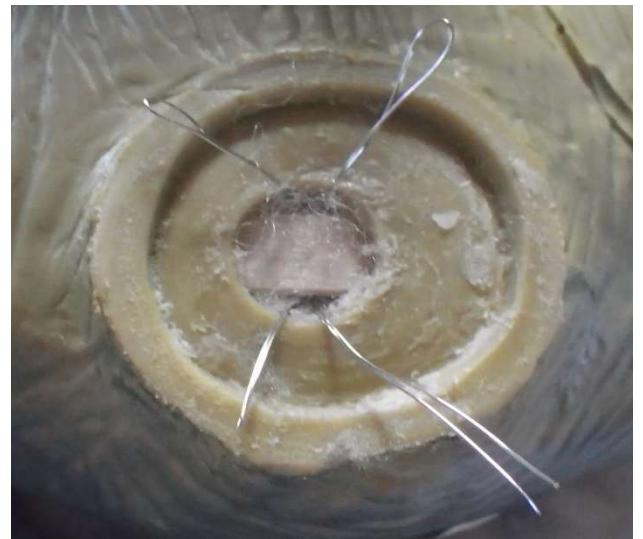
長持ちさせるためには、接着の前段階として、どうすれば良いのか？
胴体と足を何とか結び付けられないか？
素材が柔らかく、糸や針金で縫っても、針穴からすぐに破れてしまいそうです。
考えたのは、図の様に双方に芯木を入れ、その芯木同士をステンレス線で結束する方法です。





芯木は、アイスバーの板が、
丁度穴の大きさに合うので利用する事にしました。

アイスバーの芯の下に、
2本取りにしたステンレス線を潜らせながら、
内部にはめ込みます。
右の写真は、胴体の方の準備の様子です。
足の方も同じようにしました。



それを向い合せて、ステンレス線同士を
引っ張りながらひねって、結びつけました。

これで両方が外れる事は無くなりましたが、
どちらも詰め物がふくれているので、
それだけでは、グラグラして落ち着きません。

そこで、合わせ目に接着剤を入れました。
前日のテストで、アロンアルファがある程度効く事が分かっていたので、
両方を強く押し付けながら、先ずアロンアルファを入れました。

アロンアルファが効いて、グラグラしないようになりましたが、1ミリほどの隙間が残ります。
そこには、2液混合のM o s 8接着剤をいれて、隙間を埋め、接着力を強めました。

両足で立つことが出来るようになった
雄姿です。

